

No.	区分	意見	回答	該当ページ
1	はじめに	吹田市として市民と事業所の活動が活性化していく中で目標を達成するということだと思うが、最初の「はじめに」の文章を見ると分かりにくいので明確にしたいほうがいい。	「はじめに」は、見直しを行う背景を総花的に記載しているものです。計画の方向性というところでは、市民・事業者・行政によるパートナーシップによる取組を進めていかなければならないということ、基本方針の中に記載しています。	1
2	見直しの視点	中核市に移行すると市の負担が大きくなるので、紙ごみの増大、エネルギーの増大などにも注意を払っていくことをしないとイケない。	本計画の中ではなく、地球温暖化実行計画の事務事業編「エコオフィスプラン」では記載したいと思います。	5
3	計画期間	吹田市第4次総合計画の更新時などに必要に応じて見直しを行うと書いてあるが、一方で資料2-5の市民意見のみどりの基本計画のところに希少種の保全の数も必要に応じて改訂時に見直しを行うと書いている。具体的に計画の期間を持っているのか聞きたい。毎年改訂していいのか。	毎年変えることということではなく、総合計画が変わるときに一緒に変えるものと考えています。	6
4	はぐくむ	環境学習発表参加校数が25校で、目標を全部の54校にしないのかという議論を前回したところだが、「エコスクール活動簿の21点以上」の指標の目標値についても、全校にしないのか。	全校が望ましいものではありませんが、現状の数字も踏まえて、概ね達成というところで8割という数字としています。	16
5	はぐくむ	「エコスクール活動簿の21点以上」の指標について、7割などに下げてエンカレッジさせる方向を植えたほうがいいのではないか。	目標期間9年で達成するものとして、現状の17校であるところからの向上を図っていきたいと考えています。	16
6	はぐくむ	学校での環境教育の中身を教えてもらえるか。	環境教育は、3年生、4年生の社会科で、ごみや水のことで学んでいます。5年生、6年生は家庭科で、日常生活のさまざまなことが環境にかかわっており、環境保全につながる意識付けがされています。あとは、PTA、地域と協力し、さまざまな活動、アプローチで学んでいるところが現状です。	16
7	まもる みどり・自然共生	生物多様性を啓発しているだけでは施策は進んでいかないので、変更がきくのであれば、認知度の啓発にとどまらずに、例えば生物多様性の理解の醸成などの文言にされてはどうか。理解していただくのが大事なので指摘させていただく。21ページのコラムだけを読むと、木材利用が生物多様性の保全みたいな形に見える。考えていただきたい。	「まもる」の2つ目の柱の具体的施策及び「みどり・自然共生分野」の1つ目の柱の具体的施策を「生物多様性の保全への理解を深めるための効果的なイベントの実施及び啓発活動」とします。また、指標については、市民の方にわかりやすく「生物多様性の保全を重要だと思っている市民の割合」に修正します。コラムについては、表題を「地域循環共生圏の構築に向けた取組」に変更し、誤解を招く表現を避けました。	18 19 38 39 22

No.	区分	意見	回答	該当ページ
8	エネルギー	太陽光発電、太陽熱利用の普及促進がメインになるのはやむを得ないが、森林環境税の活用も含めて能勢町との協働でバイオマスのエネルギー利用も加えておいたほうがいいのではないかと。RE100に取り組むことも啓発に組み込むことが必要ではないか。	木材バイオマスは、木材の供給に関して限度がある状況で、施策として今の段階で書けるような状況ではありませんが、太陽光発電、太陽熱発電に限定せず、具体的施策は「市民・事業者との連携・協働による太陽光発電・太陽熱利用などの再生可能エネルギーの普及促進」に修正します。RE100の企業への啓発も委員の指摘どおり進めていくべきものと考えていますので、具体的施策には企業へ促すという意味で「促進」という言葉を入れています。また、RE100の企業への啓発については、具体的施策の「再生可能エネルギーの利活用に関する啓発活動や情報提供」の中で、施策を進めていく際に、周知をしていくことを検討しています。	27
9	生活環境	第3章の公害に関する苦情を解決した割合が指標に上がっているが、吹田市全体をあらゆる指標として適切か疑問に思う。	第4次総合計画との整合性というところで、設定しています。現行計画の代表指標である公害はほぼ達成されており、市民感覚で公害を相対的に捉えた中で指標を立てるべきではないかという議論になり、該当の指標としています。また、本市の特徴として、近年の人口増加がみられ、それに伴う開発による騒音が課題となっています。そのため、生活環境分野の代表指標としては、本指標としています。	34
10	SDGs	SDGsの認知度は指標として入れておいたほうがいいのではないかと。	本計画での指標とするのは難しいですが、改訂時などには、市民アンケートを行うことを考えており、その中にSDGsの認知度について、盛り込んでいくことは可能かと思うので、今後検討していきたいと思えます。また、本計画では、計画を進めることで、SDGsの目標についても達成が図られるものと考えていますので、第5章では、表題を「SDGsの目標との関係性」とし、SDGsとの関係性を示すものとします。	46
11	SDGs	SDGsについて、PDCAの中で、評価をするのか。関係性を明示して認知度の向上を図る段階でとどめるのか。	進行管理の中で、SDGsについてコメントをするなど、検討していきたいと思えます。	50
12	全般	吹田市が目標値を立てるときに計算根拠を持たれているのか。	経過の推移や他の計画との整合性をを見ながら、目標値を設定しており、計算根拠を持って設定しています。	